

■コメント

1. 感染性胃腸炎

定点当たり20.6人とやや増加して、非常に多い状態となっています。

また、11月以降、感染性胃腸炎の集団発生が5件(うち3件がノロウイルスと判明)報告されています(12月3日現在)。

予防のポイントは次頁を参照してください。

2. インフルエンザ

1人(定点当たり0.03人)報告されています。

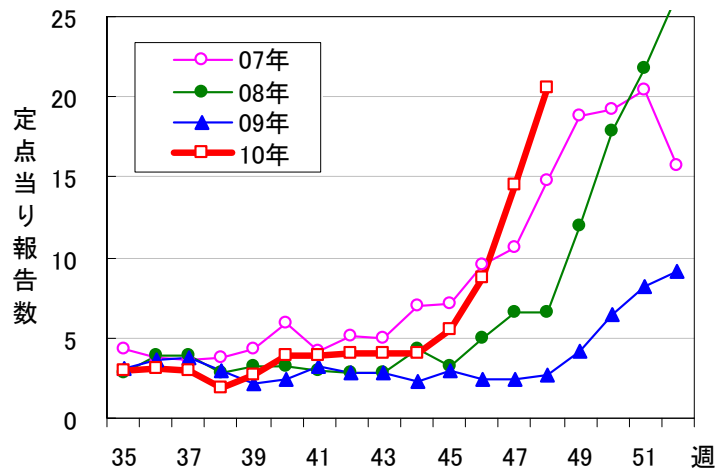
また、広島市衛生研究所の検査結果では、患者2人から新型インフルエンザウイルス(A/H1N1)が検出されています(12月7日現在速報値)。

予防のためには、流行前に予防接種を受けることが有効です。また、健康管理に十分注意し、手洗い・うがいの励行など感染予防に心がけてください。

3. 水痘

定点当たり3.38人とやや増加しています。

感染性胃腸炎



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年間(注)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年間(注)	発生記号
インフルエンザ	1	0.03	8.97		ヘルパンギーナ	-	-	0.02	
咽頭結膜熱	4	0.17	0.44		流行性耳下腺炎	10	0.42	1.07	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	25	1.04	1.70		RSウイルス感染症	14	0.58	1.14	
感染性胃腸炎	494	20.58	10.93		急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
水痘	81	3.38	2.20		流行性角結膜炎	2	0.25	0.70	
手足口病	4	0.17	0.19		細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
伝染性紅斑	3	0.13	0.06		無菌性髄膜炎	-	-	-	
突発性発しん	12	0.50	0.67		マイコプラズマ肺炎	-	-	0.26	
百日咳	4	0.17	0.16		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当り)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累積	備考
2	結核	4	214	女性(20歳代)・1人、女性(50歳代)・1人、女性(60歳代)・1人、男性(80歳代)・1人
4	つつが虫病	1	4	女性(50歳代)
5	アメーバ赤痢	1	9	男性(40歳代)
5	急性脳炎	1	10	女性(10歳未満)
5	梅毒	1	3	男性(60歳代)・推定感染地域: 国外

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

		インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	RSウィ ルス感 染症	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜 炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズ マ肺炎	クラミ ジア肺 炎
報告数	第44週	-	5	22	98	26	1	1	11	7	-	25	12	-	7	-	-	7	-
	第45週	-	3	11	133	42	1	-	16	1	-	20	6	-	6	-	-	3	-
	第46週	-	6	21	211	44	-	2	16	3	-	21	12	1	10	-	-	1	-
	第47週	2	2	33	350	60	2	1	14	10	-	19	14	-	5	2	-	3	-
	第48週	1	4	25	494	81	4	3	12	4	-	10	14	-	2	-	-	-	-
定点 当り	第44週	-	0.21	0.92	4.08	1.08	0.04	0.04	0.46	0.29	-	1.04	0.50	-	0.88	-	-	1.00	-
	第45週	-	0.13	0.46	5.54	1.75	0.04	-	0.67	0.04	-	0.83	0.25	-	0.75	-	-	0.43	-
	第46週	-	0.25	0.88	8.79	1.83	-	0.08	0.67	0.13	-	0.88	0.50	0.13	1.25	-	-	0.14	-
	第47週	0.05	0.08	1.38	14.58	2.50	0.08	0.04	0.58	0.42	-	0.79	0.58	-	0.63	0.29	-	0.43	-
	第48週	0.03	0.17	1.04	20.58	3.38	0.17	0.13	0.50	0.17	-	0.42	0.58	-	0.25	-	-	-	-
全国	第46週	0.35	0.35	1.63	10.64	1.40	0.30	0.34	0.55	0.03	0.06	1.16	0.57	0.02	0.61	0.03	0.02	0.71	0.03
	第47週	0.44	0.40	1.55	12.72	1.78	0.28	0.37	0.53	0.02	0.05	1.22	0.72	0.02	0.62	0.02	0.02	0.66	0.04

■新たに判明した病原体検出状況

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(38.8)	37	男	2010/10/22	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスA(H3)型
感染性胃腸炎	発熱(38.0) 下痢 腸重積	不明	男	2010/10/21	糞便	アデノウイルス5型
急性脳炎	発熱(37.1) 丘疹 黄疸 脳炎 無呼吸 痙攣	0	男	2010/10/24	髄液	単純ヘルペスウイルス2型
川崎病	発熱(39.0) 発疹 結膜炎 リンパ節腫脹	2	男	2010/10/24	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス7型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

●ノロウイルスによる感染性胃腸炎に注意しましょう。●

ノロウイルスは感染力が強く、少量のウイルスでも感染し、感染経路はほとんどが経口感染です。学校・保育園・福祉施設などの集団生活の場では、集団発生を引き起こしやすいので、特に注意が必要です。

【予防のポイント】

◆手洗い・うがいの励行

最も基本的なことは、手洗い、うがいの励行です。(特にトイレの後、便や吐物を処理した後、調理の前、食事の前など) 手洗いは石けんを使用し、しっかりと流水で洗い流してください。

◆食品の十分な加熱

ノロウイルスは熱を加えると死滅するので、ノロウイルスが含まれている可能性のある食品は、中心部まで十分(85℃以上の温度で1分間以上)加熱しましょう。

◆調理器具などの消毒

調理器具などは、洗剤などを使用し十分に洗浄した後、塩素系消毒剤(*)又は煮沸で消毒しましょう。

◆糞便・吐物の取扱いに注意

患者の便、吐物には多量のウイルスが含まれていますので、処理の際には手袋やマスクを着用し、塩素系消毒剤(*)で消毒しましょう。

* 塩素系消毒剤としては台所用塩素系漂白剤があります。使用に当たっては「使用上の注意」をよく読んで、適切な濃度に希釈して(薄めて)から使用しましょう。

詳しくは、広島市感染症情報センターHP「[感染症トピックス／ノロウイルスによる感染性胃腸炎](http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/0000000000000/1265934252697/index.html)」をご覧ください。

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/0000000000000/1265934252697/index.html>

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.jp

2010年第48週(11月29日～12月5日)